

記者発表(資料配布)

月/日	担当課(室)係名	TEL(代表)	発表者名	資料配布先
12/22(金) 14:00	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 (559)2001	次長 田原 直樹 (安井 健二)	県教委記者クラブ 三田市政記者クラブ

新春特別企画

地域研究員によるシモバシラ観察会

「あ～らふしぎ！植物シモバシラから氷がのび～る」の開催について

1 主旨

シモバシラは関東から紀伊半島、四国、九州の温暖な地域に生える日本固有のシソ科の多年草です。寒い冬の時期に枯れた茎から霜柱が出てくることで、この名前が付けられました。四国や九州には多く見られますが、本州ではあまり見られないため、絶滅危惧種に指定している県もあります。

霜柱が観察できるのは、寒い日の朝早くに限られるため、早朝の観察会を行います。気象条件に恵まれば、茎から大きく成長した霜柱を観察することができます。

2 実施概要

(1) 日時：平成30年1月6日(土)、7日(日)

(2) 場所：兵庫県立人と自然の博物館 エントランス周辺、4階中セミナー室

(3) 内容：両日とも下記の時間帯で同じ内容を実施

7:45 集合(エントランス前)

8:00 観察会

9:00 講話(4階中セミナー室)

10:00 解散

* 観察会の可否については、当日7:00にメールにて参加者全員に連絡し、7:30にエントランスに掲示します。

観察が出来ない場合は、9:00からの講話のみ行います。

(4) 講師：武田一夫(兵庫県立人と自然の博物館 地域研究員、元帯広畜産大学教授)
藤井俊夫(兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員)

(5) 受付方法：対象は、小学生以上(ただし、小学3年生以下は保護者同伴)。

定員は、両日ともに先着30名。

参加費は、無料。

申し込みは、メールにてチラシ掲載の方法で下記メールアドレスまで。

・申し込み用メールアドレス shimobashira.club@gmail.com

3 担当

兵庫県立人と自然の博物館 自然環境再生研究部 藤井 俊夫

電話：079-559-2001(代表) E-mail: fujii@hitohaku.jp

新春特別企画・地域研究員によるシモバシラ観察会

(人と自然の博物館・日本雪氷学会関東以西支部 共催)

2018年1月6日(土)・7日(日)

あ~らふしぎ! 植物シモバシラから氷がのび~る

あなたも植物がみせるふしぎな世界を写真に撮りませんか!

1月6日(土)・7日(日)ともに同じ内容

- 7:45 受付 人と自然の博物館 エントランスホール前
- 8:00 シモバシラの氷観察会(晴れて霜が降るような寒い朝のみ実施)
- 9:00 シモバシラの氷ふしぎを解き明かすお話(人と自然の博物館 中セミナー室)
- 10:00 解散

* 観察会の開催
当日7:00に参加者にメールします
雨天などで観察できない場合
9:00~ビデオ上映とお話のみ実施

齋藤義範氏撮影・東京高尾山に於いて

- ・ 募集: 小学生以上 両日とも先着30名
ただし、小学3年生以下は保護者同伴
- ・ 参加費: 無 料
- ・ 締め切り: 2017年12月29日, 定員に達したら募集を終了します.
- ・ 講師: 武田 一夫(人と自然の博物館・地域研究員,
元帯広畜産大学教授)
藤井 俊夫(人と自然の博物館・主任研究員)

申込み・問合せ(裏面)

地域研究員・武田一夫

E-mail: shimobashira.club@gmail.com

メールのみの対応です

シモバシラ観察会のお申し込み

(ご記入後、メール件名に「シモバシラ観察会参加希望」と書いて、
参加希望日等の写メを添付し、下のお申込み・お問い合わせ先メールアドレスに送ってください。)

参加希望日： 1月 6日(土) ・ 7日(日) いずれかを○で囲む

(3名以上の場合は、続けて下に記入してください。)

お名前： 年齢 男 ・ 女

お名前： 年齢 男 ・ 女

ご住所：

連絡先： E-mail

携帯またはTEL.



お申込み・お問合せ先

地域研究員 ・ 武田一夫
shimobashira.club@gmail.com

撮影される方は、カメラまたは携帯電話などをご持参ください。

屋外で行いますので、暖かい服装でお越しください。

※ ひと口知識 ※

シモバシラ： シソ科植物で、本州関東以西・四国・九州の山の木陰にはえる多年草。冬の朝、茎から伸びた氷が見られる。別名ユキヨセソウともいわれるが、地面にできる霜柱の氷と同じ仕組みでできることから、シモバシラとよばれる。